

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課  
 担当名：企画・試験研究調整担当  
 内線：4032 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B2	農業技術研究センター試験研究費			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産研究費	農業技術研究センター費	
事業期間	昭和37年度～	根拠法令	農業改良助長法、地力増進法、土壌汚染対策法、主要農作物種子法	戦略項目		08	埼玉農業の競争力強化		
				分野施策		030201	収益力ある農業の確立		
1 事業概要 埼玉畜産業の競争力を強化するため、飼養管理技術の開発や、新品種の育成などの試験研究を実施する。				5 事業説明					
(1) 県オリジナル品種の育成普及 3,633千円				(1) 事業内容					
(2) 低コスト高収益生産技術開発 4,044千円				ア 県オリジナル品種（埼玉ブランド）となる新品種の育成・普及 3,633千円					
(3) 調査研究 681千円				イ 土地利用型農業における大規模低コスト・高収益な生産技術の開発 4,044千円					
(4) 非常勤職員雇用 11,372千円				ウ 調査研究 681千円					
(5) 機器更新事業 16,736千円				エ 非常勤職員雇用 11,372千円					
				オ 機器更新事業 16,736千円					
				(2) 事業計画（目標、達成水準、今後の計画等）					
				ア 県オリジナル品種（埼玉ブランド）となる新品種の育成・普及 4課題（うち新規1）					
				イ 土地利用型農業における大規模低コスト・高収益な生産技術の開発 2課題					
				ウ 調査研究 1課題					
				エ 非常勤職員雇用 4名					
				オ 機器更新事業 2機種					
				(3) 事業効果 新品種、開発された新技術が普及されることにより、本県畜産業の発展を支える。施設、機器を整備し、豚の極少量精液による夏季受胎率向上技術の確立を行う。					
2 事業主体及び負担区分 (団体10/10、県0) (県10/10) (国庫1/2、県1/2)				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人（農研機構等）、都道府県、大学、民間企業や農業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、農業関係団体、民間企業や農業者から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。					
3 地方財政措置の状況 地方創生拠点整備交付金で対応（9,378千円） 補正予算債の元利償還金の50%を後年度、基準財政需要額に算入									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費 9,500千円×25人=237,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県 債						
決定額	16,736	8,368	7,000					1,368	36,466
現計額	19,730							13,363	